



# 神奈川支部報

神奈川支部報 第 6 号

発行日：2017年7月1日

発行者：込田伸夫

発行所：公益社団法人日本山岳会神奈川支部

横浜市青葉区若草台 2-58 込田方



神奈川支部平成 29 年度通常総会

## 平成 29 年度通常総会報告

平成 29 年 5 月 20 日、神奈川大学横浜キャンパス 3 号館 305 教室にて神奈川支部の総会が開催された。議事に先立ち、寺井事務局長より、平成 29 年 3 月末現在の支部会員は 137 名で、出席者 99 名は過半数を超えているので、本総会が成立していることが報告された。

審議決定した主な内容は以下の通り。

- ・支部規約第 15 条により、本総会の議長に込田支部長が選出
- ・込田支部長より、現在顧問の落合・大槻の 2 名を 6 月 24 開催の本部総会で理事退任と同時に支部役員に選任したいとの提案があり、承認。なお、任期は来年度の通常総会まで。
- ・込田支部長より、①準会員制度発足に伴って準会員を規約に明記すること、②支部総会の欠席者の意思表示を書面だけでなく電磁的方法でも可能とすること、の 2 点を改正する支部規約案が提案され承認された。
- ・込田支部長、井村副支部長、長島広報委員長から、平成 27 年度と平成 28 年度の事業報告があった。次いで、青木会計担当から、平成 27・28 年度の会計報告があった。さらに砂田監事より、これらの報告に対する監査報告があった。審議の結果、これらの報告は承認された。
- ・込田支部長と井村副支部長より、平成 29 年度事業計画について提案があった。次いで、青木会計担当から、平成 29 年度予算について提案があった。審議の結果、これらの提案は承認された。

## 「山の日」 施行記念講演会

支部総会開催前に、神奈川支部「山の日」施行記念講演会として、神奈川大学山岳部の活動報告と慶應義塾大学名誉教授鈴木正崇会員の「相模の山岳信仰」を一般公開で開催した。参加者は約 60 名。

## 神奈川大学山岳部活動報告

支部会員（現役員）でもある神奈川大学山岳部落合監督と畠山主将から山岳部の活動報告があった。

現在、山岳部とOBは建学 100 周年を祝う企画として、世界の美しい山々 10 峰と 8000m 峰 14 座すべてに登る「グレートサミッツ&ジャイアンツ（G&G）計画」に取り組んでいる。



↑活動報告をする落合監督

畠山主将からは高所経験を増やす目的で行われたワスカラン遠征（ペルー）の報告があり、残念ながら敗退に至ったことが報告された。国内では北アルプスの赤木沢の合宿を実施、小川山ではアルパインとスポーツクライミングの交流を図り、次のエルブルースの登頂を目指しているとのことであった。



↑報告をする畠山主将

## 「相模の山岳信仰」

慶應義塾大学名誉教授の鈴木会員からは神奈川県内の大山、八菅、山北などの山岳信仰について講演をいただいた。

修験者が麓に住みついて御師となり信仰を広めた大山信仰、修験集落であった中津川の八菅、「お峯入り」で修験の修行が芸能化された山北の行事、秋葉権現を祀り火渡り行事をする小田原量覚院の行事などが紹介された。



↑講演する鈴木教授

最近は大山は日本遺産として登録され、訪日外国人向けの資源として利用されている説明があり、忘れ去られていた山岳信仰が旅行のパッケージとして復活しつつあることを紹介いただいた。

厳しい修行の印象が強い山岳信仰であるが、一面「大山に登り、江ノ島で精進落としをする」というかつての風習も、現代のレジャー感覚であったということも興味深く感じられた。（報告：長島泰博）

## ◆◆◆山行報告◆◆◆

### 湘南平（かながわ山岳誌 P/支部山行）

2017年4月15日実施

参加：24名

全コースを通じてよく整備されたコースで危険なところもない。大人数のため二つのグループに分けて行動しトランシーバーで連絡を取った。高麗山、浅間山、湘南平では「かながわ山岳誌」の記録を取った。湘南平では込田支部長の挨拶、「かながわ山岳誌」

の提案者である森さんから趣旨説明。さらに砂田さんからレリーフのある岡野金次郎についての話があった。下山は高田公園を経て、大磯駅へ下る。分岐がいくつかあるが、右にとって大磯駅西側のガードに出た。(記 田島剛)

コースタイム：大磯駅(10:30)－高来神社(11:00/11:05)－高麗山(11:30/11:35)－湘南平(12:20/13:25)－大磯駅(14:20)

参加者：砂田、和田、堀井、込田、森、石村、川、舟根、小松、高井、芦沢、落合、早川、星、永井、長島、寺井、多田、青木、田島、ほか3名(非支部会員)，



↑ 湘南平山頂

### シダング山山行(準支部山行)

2017年6月3日(土)実施

参加：6名

シダング山スケッチ山行は天気にも恵まれ頂上での時間もたっぷりありそれぞれ1枚ずつ仕上がったようです。山に行くと心に残したい風景を短時間でスケッチすることができれば山に行く楽しみが増え豊かな気分になります。神奈川支部の山行も参加する人の多様な要望に応じて今回の企画ができたことと思います。会員の中にも登山だけでなく山を下から眺めてゆっくり絵をかいたり、山小屋についてビール飲みながらスケッチを楽しんだりする人も含めて支部会の企画を増やしていただければ素晴らしいです。山でのスケッチをしてみたいけど道具がわからない、描き方どうするの?などの疑問あればお手伝いします。基本は好きな道具(鉛筆、ペン、水彩、クレヨンなど)で楽しく描くこと、出来栄えより描いている時間が楽しい事が大切だと思います。(記：秋山典彦)



↑ 山頂で丹沢主稜をスケッチ

コースタイム：寄(9:55)－シダング山(11:20/13:00)－寄(13:50)

参加者：和田、川、小松、秋山、長島、都崎(非支部会員)，

### 鳶尾山(かながわ山岳誌P/支部山行)

2017年6月10日(土)実施

参加：8名



↑ 鳶尾山山頂にて

予報では、かなりの暑さになるとのことで心配したが、爽やかな風が吹き、コースの終盤を除いては樹林帯の中の歩行であったので、大汗をかくこともなく、快適なハイキングであった。

八菅神社の本殿への急階段は280段あり、かなりきつかった。

舟根会員が植物に詳しく、丁寧な解説に参加者は喜んでいました。(記 森)

コースタイム：鳶尾団地B S(10:05)－鳶尾山(10:30/10:45)－八菅山展望台(12:55/13:15)－上荻野B S(14:10)

参加者：込田、森、石村、舟根、田島、葉上、その他2名（非支部会員）、

## 仏果山（かながわ山岳誌P/支部山行）

2017年6月24日（土）実施

参加：6名



↑高取山山頂にて

登山道から秋葉山への往復と経ヶ岳～華厳山～荻野高取山～ゴルフ場は、昭文社の地図では、黒の点線または赤の破線になっているが、コースは明確で間違える心配はなかった。特に後者に関しては、地元の「西山を守る会」が良く手入れしてくれているお陰で歩きやすかった。荻野高取山からの下山コース（特にゴルフ場内）は一部分かりくいところがあり助かった。標高差はそれほどでないが、急な登り下りがあり、体力を必要だと感じた。（記 森）

コースタイム：仏果山登山口(8:50)－宮ヶ瀬越(9:49)－半原高取山(10:17)－仏果山(10:57)－秋葉山(11:30)－半原越え(13:27)－経ヶ岳(13:55)－華厳山(14:40)－荻野高取山(15:15)－上荻野BS(17:00)

参加者：込田、森、植木、永井、田島、葉上、

## 北海道中央高地（特別報告）

2017年4月29～5月5日実施

参加：3名

本報告は YOUTHCLUB で活躍する神奈川支部の3名(中山、星、広岡)の山行記録である。

4/29 廣岡は旭川に前泊、中山・星は早朝の飛行機で羽田を立ち、旭岳行きのバスにて合流。石室へは2階の小窓から出入り。

4/30 山岳気象予報、天気図をもとに昨夜の内に今日は停滞と決めた。午前中疑似好天の後、大荒れになる予報。朝方は旭岳の頂上も、遠方もよく見えたが、11 時ころから旭岳のピークが見えなくなり、石室周辺でも風が強くなる。

5/1 小雪。気温は低い。8時まで様子を見ることにしたがすっかりガスにまかれた状態なので停滞とする。

5/2 天気は申し分なく良くなった。気分よくスタートするも荷物が重くスピードが出ない上に、星のシールが不調で調整に手間取る。旭岳頂上からはいよいよ中央高地へ向けての滑降。ほぼ真東へコルを目指して滑り降りる。その後夏道のある稜線へはあがらず、高度を落とさないように忠別川源頭へトラバース。

松井岳直下から少し手前でルンゼをトラバースして、松井岳から伸びる尾根状へ乗り、そこから台地状をどんどん滑る。途中、台地状の尾根が分岐するので注意深くルートを選び、1730mくらいの高度で忠別川をあらためて横断し、平が岳へのトラバースへ入る。スケールが大きいので距離感を見誤る。見た目を感じた予想よりはるかに時間がかかる。今日の走破距離は17.3km。12時間15分行動。忠別岳避難小屋（泊）



↑忠別岳より次の日のコースを南望

5/3 朝からすごく良い天気だが風が強い。

ルート上はすべて風衝地で荷をおろして休む気になれないほどだったのでヒサゴ沼において休憩をとった。トムラウシ山へは空身で、アイゼン・ピッケルでアタック。全方位が見渡せる良い天気の中でのアタックであった。トムラウシ山から降りてきてすでに幕営すべき時刻ではあったがさらに歩を進める。アタックをかけた地点からシールをはずして滑降。三川台へ行く前に進行方向左側の大きな沢の源頭部を下り降りてショートカットした。これも計画していたこと。それにしても視界が効いていないと進めるところではない。1506 コル (幕営)



↑歩いてきたトムラウシ方面を振り返る  
5/4 オプタテシケ山の登り出しまでは順調。登りはどうしても時間がかかる上に、一様な急斜面でザックを置いて休む気になれない。急登の後は強風の中の細いリッジ歩き。強風の中をスキーをザックにつけてよろよろしながら歩く。廣岡が途中でOver Heat。強風でつまづいた後立ち上がる気力がなくなってしばらくへたり込んで動かなくなった。いろいろあって時間がかかっているけど、毎日目的地まで3人ともよく頑張っている。美瑛富士避難小屋 (幕営)

5/5 美瑛までやはり時間をくった。ピークの横の肩までまっすぐ上がって来たが進行方向がすっかり崖になっていて、雪も切れている。2mほどのギャップを飛んで越えた。ザックと板は投げた。その後も雪が切れていてシートラーゲンを20分ほど。毎日いろいろある。十勝岳の頂上から滑降。重いザラメ。途中一本沢を渡るところ、水流が出ているけれど飛び石伝いに涉れた。よくぞ歩きとおした。(記 中山茂樹)

(コースタイム) 4/29 12:45 ロープウェー  
—姿見—13:10 旭岳石室

4/30 (停滞)

5/1 (停滞)

5/2 4:15 旭岳石室—8:00 旭岳 —9:10 松井岳手前のルンゼ源頭部の直前—11:00 忠別川を渡る—13:00 平が岳北のコル—16:30 忠別岳避難小屋

5/3 5:30 忠別岳避難小屋—6:25 五色岳—8:20 ヒサゴ沼避難小屋—12:30 北沼—14:00 トムラウシ山—16:00 1506mコル(幕営)

5/4 5:00 1506m コル—5:50 ツリガネ山—8:00 コスマヌプリ—10:00 オプタテシケ山基部 —14:00 オプタテシケ山 —18:00 美瑛富士避難小屋 (幕営)

5/5 6:10 美瑛富士避難小屋—10:30 美瑛岳の肩—12:00 美瑛・十勝岳コル—14:30 十勝岳—16:30 吹上温泉 (白銀荘)

参加者：中山、星、廣岡

## 役員会/山行委員会・ユース委員会報告

### 4月役員会

日時：4月16日(木) 19:00

場所：神奈川工科大学 横浜事務所

報告事項

- ・会員の異動
- ・28年決算報告及び監査報告
- ・かながわ山岳誌プロジェクトキックオフ (湘南平) 報告
- ・赤倉スキー報告
- ・共同備品の購入報告

審議事項

- ・支部総会
- ・南関東ブロック3支部合同山行について
- ・かながわ山岳誌プロジェクト
- ・関東地区支部事業情報交換会への参加について

- ・29年役員会の日程について

6月から8月を除く第3木曜日に毎月開催山行計画審議。

- ① 9/23~24 御正体山、菰釣山

### 5月山行委員会

日時：5月18日(木) 19:00

場所：会場：神奈川工科大学横浜事務所

- ・山行報告
- 湘南平

- ・山行委員会の開催日程について  
役員会が毎月開催になったため山行委員会はどうにするか検討。自由な意見交換の場として9月に山行報告会を開催することで調整することに。
- ・支部会員アンケート  
回収率が低いため継続して願います。
- ・山行計画  
6/3 シダング山（スケッチ山行）  
6/10 かながわ山岳誌 P 蔦尾山  
6/24 かながわ山岳誌 P 仏果山  
7/8～9 平標山・仙の倉山  
7/318/3 雲の平  
9/23～24 御正体山・菰釣山

## 6月役員会

日時：6月15日（木）19:00

場所：神奈川工科大学 横浜事務所

報告事項

- ・会員の異動

審議事項

- ・平成29年執行体制
- ・南関東3支部合同山行
- ・かながわ山岳誌プロジェクト山行
- ・静岡支部との交流会
- ・公募参加者に対する保険の取り扱いについて、保険代理店の担当者から話を聞く。

## 今後の予定

### 準支部山行（かながわ山岳誌P）

日時：9月9日（土）

場所：南高尾山稜（大垂水峠～草戸山）

コース：相模湖駅＝大垂水峠－大洞山－中沢山－草戸山－高尾山口駅

概略：高尾山の南の都県境にある5つの山を踏破するLレベル山行です。会員が同伴する場合には、非会員の方も参加できます。歩程約4時間。

集合：9/9 8時30分 相模湖駅

担当：森武昭

[Eメール]mori@he.kanagawa-it.ac.jp

### 準支部山行

日時：9月23日（土）～24日（日）

場所：御正体山、菰釣山

コース：橋本駅＝御正体山登山口－御正体山－山伏峠－スカイバレーキャンプ場（泊）－東海自然歩道－菰釣山－避難小屋－スカイバレーキャンプ場＝橋本駅

概略：道志川スカイバレーキャンプ場をベースに、御正体山～山伏峠、菰釣山～避難小屋の東海自然歩道を歩きます。キャンプ場ロッジ宿泊の自炊です。各日歩程約6時間。定員：8～10人。

集合：9/23 7時 JR 橋本駅

担当：早川正志

[Eメール] haya@olive.ocn.ne.jp

TEL090-1401-8382

### 準支部山行

日時：10月14日（土）～15日（日）

場所：北八ヶ岳縦走

コース：ピラタスロープウェイ－縞枯山－白駒池（泊）－高見石－中山－天狗岳－洪の湯

概略：詳細は後日連絡。

担当：井村英明

[Eメール]imurahide@yahoo.co.jp

TEL090-5822-9539

### 支部山行（南関東3支部合同懇親山行）

日時：10月28日（土）～29日（日）

場所：三ノ塔

概略：埼玉、東京多摩、神奈川の3支部の合同山行で、大倉の山岳スポーツセンターに宿泊して三ノ塔に登ります。詳細は後日連絡。

担当：早川正志

[Eメール] haya@olive.ocn.ne.jp

TEL090-1401-8382

### 支部山行（静岡支部合同懇親山行）

日時：11月18日（土）～19日（日）

場所：富士腰切塚

概略：恒例の静岡支部との懇親山行。今年は静岡支部が企画立案をしてくれそうです。神奈川支部担当者を含め詳細は後日連絡。

## 役員会

7月20日(木) 19時～

9月21日(木) 19時～

場所はすべて神奈川県横浜事務所

(横浜駅東口ウィズポートビル 10F)

※カモシカスポーツのビルです。

## 山行報告会(山行委員会主催)

9月2日(土) 17時～

「山の話をしませんか？」

山行委員会では現在行っている神奈川県山岳誌プロジェクトや支部山行をもっと知っていただくために山行報告会を開催します。また支部会員が行っているハイキングや縦走、蘆山やアルパイン、沢、スキーなど様々なジャンルの山行もご紹介します。皆さんの行きたい山もきっと見つかります。最近山から遠ざかってしまっている皆さんもぜひ遊びに来てください。秋の夕べに山の話で盛り上がりましょう。

終了後は懇親の場も設ける予定ですので、どうぞ気楽にご参加ください。

担当：植木貞一郎

[Eメール] tueki@tj9.so-net.ne.jp

TEL 080-1256-6920

## 支部会員動静

退会

13380 浦宏至

10824 吉田博至

転籍

15583 酒井俊太

加入

16168 橋本康孝

16171 藤川智恵子

16185 志波喜久子

16189 関口由美子

16023 和田薫

15601 鈴木郁子

15901 畠山政大

15964 紺野会里

11101 川朋子

13744 大西幸男

A0013 葉上徹郎

## あとがき

総会が終わって神奈川県支部も2年目がスタートしました。まだまだヨチヨチ歩きですが、かながわ山岳誌プロジェクトをはじめとする新しい企画も実行されています。

先日、支部会員の方の要望でスケッチ山行を企画しました。絵なんて高校時代の美術以来で気が進まなかったのですが、山頂で山と向かい合うと写真とは違った印象が残ります。こういう山の楽しみ方もあるのかと、新しい世界が広がった気がします。皆さんからの提案をお待ちしています。(泰)

発行：日本山岳会神奈川県支部 支部長：込田伸夫

編集者：植木貞一郎、多田友行、長島泰博

平成29年7月1日

次回は10月1日発行予定